

概要

感染症は人間の歴史において切っても切れないものである。また、感染症の流行に対し何らかの政策が取られるものであった。富山県統計書と過去の記述を用いて、さらにGISソフト MANDARA を用いた地図化を行った。感染症の流行とそれに対する反応や政策を比べることによって新たな知見を得ようとした。その結果、感染症流行に対する政策は普通は効果を発揮するものだが、中には例外もあるということが分かった。それが戦争であり、戦争遂行のために衛生に関する政策が行われたにも関わらず、戦時中は明らかに感染症が流行していた。また、戦後に赤痢の患者が急増したことも特筆すべきであろう。赤痢と感染経路が似ているはずの腸チフスは戦後に患者が減少したが、赤痢は急増した。予防接種の有無だけでは急増の説明が不可能であるため完全な説明ができなかった。